

# トカチの地上絵から・・・

夢

かなう

十勝太で行われたトカチの地上絵完成披露イベントにおいて、浦幌小学校の女子バレーボールチーム「浦幌ファイターズ」(飯田ゆま主将、18人)が舞台上上がる場面があり、「パイオニアの選手から直接指導を受けたい」と同社役員に伝えていました。パイオニアの実業団チーム「レッドウィングス」には、日本代表の栗原恵、多治見麻子、北海道赤平市出身の庄司夕起選手があり、子どもたちの熱い思いを受けたパイオニア側のご好意により、観戦の形で夢が実現。パイオニアよりWカップ(対ポーランド戦)の観戦チケットが町に届き、子どもたちに渡されました。



6月2日、トカチの地上絵完成披露イベント

## 感謝しまあ・・・

仲間を信じる

最後まで諦めないで戦う

一人一人が責任をもってプレーする



憧れの選手を目の前に迫力ある試合を観戦



11月10日、北海道立総合体育センターきたえーるで、子どもたちはWカップを観戦しました。日本対ポーランド戦はフルセットを戦いぬき日本が勝利。浦幌ファイターズ顧問の坂下先生は「バレーボールを通し『感謝』の気持ちを持つよう常に指導している。今日のこときっかけで、子どもたちが更にバレーボールを好きになること、そして多くの方々に支えられていることを理解し、お互いに支え合うことの大切さを今後の生活に活かしてほしい」と話されました。

\*ワールドカップとは、国際バレーボール連盟(FIVB)が主催するオリンピック、世界選手権と並ぶ世界3大会の一つ。4年に一度、オリンピックの前年に開催され、12ヶ国が世界の頂点を目指すバレーボールの祭典。男女上位3チームには、オリンピックへの出場権が与えられる。

## 子どもたちの声・・・

- ・試合を見て仲間を信じることを最後まであきらめずに戦いぬく姿を学べた。
- ・テレビで見るよりあざく迫力があつた。これからの目標は「一人一人がボールを落とさないぞ」と全員が同じ気持ちでやりたい。
- ・「絶対とってやる」という強い気持ちを持つことが大切だと思った。
- ・目の前で全日本選手のプレーを見ることができてうれしかった。感動した。
- ・「つなぐ」という強い気持ちが伝わった。全員の心が一つになっていた。
- ・栗原選手のような強いアタッカーに私もなりたい。
- ・選手のようなプレーができるように今まで以上に練習を一生懸命頑張りたい。
- ・1点1点がとても大切だということがわかった。
- ・私たちも最初はドキドキしていた。栗原選手もドキドキしていたのかな。



スティックバルーンを手に熱い声援を贈る